



子供環境学習

環境について学ぶための取り組み

地球温暖化やそれに伴う異常気象など、環境の変化を身近に感じられる今日このごろ。未来の地球環境を守っていく子供達と一緒に学び、考えていくために「子供環境学習」を各地で開催しています。2006年度は全地区18会場で開催し、368人の子供達が、店舗や自然の中で「未来の地球に美しい自然を残す」ために、環境保全活動を体験しました。

エコロお店探検隊

毎日の生活の場の1つであるユニーの店舗で、「環境にやさしいお買い物」の体験や、店舗から排出される廃棄物の分別・計量・リサイクルの実態を見学しました。店舗で販売している商品の中から「環境にやさしい商品」を選ぶ体験は、グリーンコンシューマーになるための目を養います。



中日新聞社
「中部の未来育成塾」



「環境にやさしい買物」について売場で商品について学習しました。



「混ぜてしまったらゴミ、分別すれば資源」店舗の廃棄物庫の見学をしました。

収穫体験

ユニーと一緒に構築している「食品リサイクルループの農業」を子供たちと体験しました。毎日の食卓に並ぶ食物が、どのように作られているかを自分の目で見、収穫して、「食物を大切にする」ことを学びました。

🍎 JAあいち海部での農業体験

愛知県の西にあるJAあいち海部は、アピタ刈谷店・知立店・アピタ安城南店で排出された食品残渣から作った堆肥を使って作物を栽培しています。田植えや稲刈り体験、牧場で酪農体験をしました。



🍎 (有)三功での収穫体験

三重県にある食品リサイクル登録再生利用事業者(有)三功がアピタ松阪三雲店・アピタ四日市店・アピタ鈴鹿店から排出された食品残渣を堆肥にして、それを使って作物を栽培しています。この循環型農業を見学し、収穫体験をしました。



NPOとのコラボレーション

地域で環境保全活動を行っている各地のNPOと一緒に環境学習を実施しました。これはNPOと企業とのコラボレーションを推進している環境省中部エコパートナーシップオフィスとの合同企画で、北陸3県の店舗で各地のNPOと開催したものです。

NPOに「店舗」という活動の場を提供し、子供達は地域の中での環境保全について体験することができました。

